

77 B 511
(77 B 51)

特 許 庁

特 許 局 願 告 告

特 許 公 報

昭32-5354

公告 昭 32. 7. 24

出願 昭 30. 9. 13

特願 昭 30-24351

発 明 者	中 根 孝	東京都港区芝田村町5の9 横浜液装製造株式会社内
同	鈴 大 末 吉	同 所
同	平 佐 良 介	同 所
出 願 人	横浜液装製造株式会社	東京都港区芝田村町5の9
代理人 弁理士	大 西 冬 蔵	(全2頁)

圧力封緘帯を有するチューブレス・タイヤ

図 面 の 略 解

第1図は本発明を実施せるチューブレス・タイヤの軸方向断面図、第2図乃至第5図は各種の補強手段を示せる斜視図である。

発明の詳細なる説明

従来圧力封緘帯を有するチューブレス・タイヤでは気密手段として、ラビリンスパッキングとしてのU型溝を有するゴムシートを以つてしたのであるが、かような気密手段を有するタイヤにあつては、チューブレス・タイヤの側壁の内側とタイヤビード部にかけてのリム面との間を封緘するにタイヤビード内側の内壁面よりリム表面に及ぶゴムシートを張りめぐらしたビード内壁に面する部分には特に平織ゴム布をあわせ貼りつけたのであるが、これではゴムシート自体に初期張力の益を有しないが、又はたとえ有していても極めて少いのでタイヤの運行中、時には気密保持に困難をきたすに至る、本発明はこの封緘のためのタイヤビード内壁に対する部分のゴムシート自体に金属層、金属コードなどを埋めこんで補強すると共に初期張力能を与うべくしたものである。

これを図面について説明すれば、第1図中1は封緘ゴムシート、2はゴムシート1に埋め込まれた補強用金属リングでこの金属リングの初期張力

益を利用し、タイヤ内腔の空気圧と共に封緘ゴムシート1をビード内壁4の部分に接せしめて気密を保つ、3は更にゴムシートに弾性を持たせるために埋込んだ金属シートである。第1図に示す補強材としてはコイルバースプリングを埋め込んだのであるが之を拡大図示したものが第2図である。第2図中3は金属シートであるがこれは必要に応じて入れるべきものである。第3図乃至第5図は本発明の他の実施例として示したもので補強並びに初期空を与える材料として第3図は金属コード5を入れたもの、第4図は波型金属ワイヤ6を入れたもの第5図では波型金属シート7を入れている、以上の各例では金属材料は初期張力能を与えと共に封緘バンドのずり落ちるのを防いでいる。

特 許 請 求 の 範 囲

本文に詳記するように封緘手段を有するチューブレス・タイヤにおいて、タイヤの両ビード部に跨りリム上にリムとビードとの間を気密に保つべき弾性材よりなる封緘装置を具え、該封緘装置のビード内壁に対する部分にはその装置の外縁に沿うて弾性ある金属材料を埋めこんだことを特徴とする圧力封緘帯を有するチューブレス・タイヤ。

Japanische Patent-Auslegung Sho-32-5354 vom 24. Juli 1957

(Anmeldung Nr. Sho-30-24351 vom 13. September 1955)

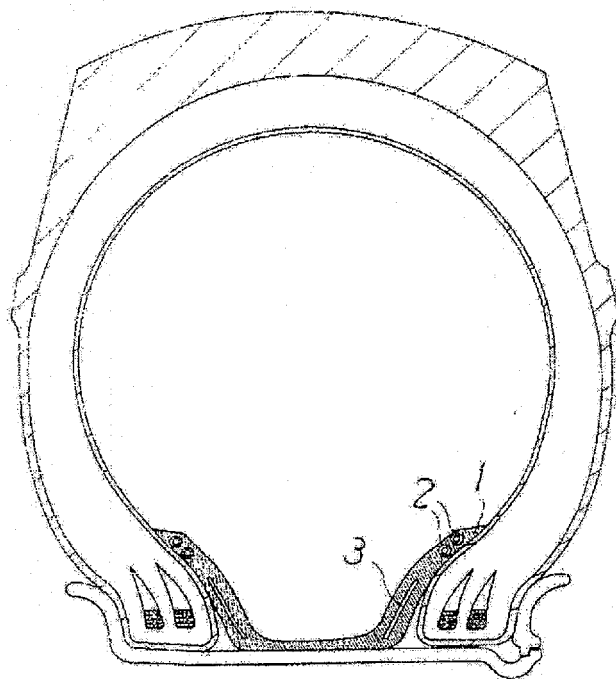
Titel: Schlauchloser Reifen mit einem Druckdichtband

Anmelder: Yokohama Rubber Company, Limited

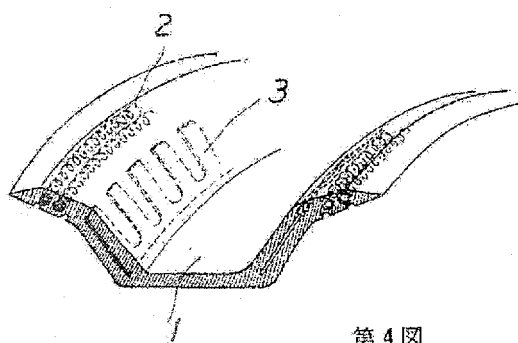
(2)

特許公報
第32-5354

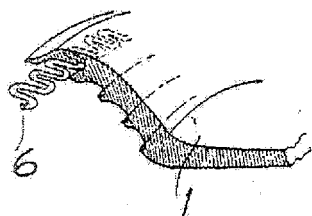
第1圖



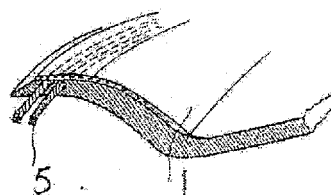
第2圖



第4圖



第3圖



第5圖

